

苦む者も暫く其の痛苦を忍んで雄々しく勇らしく労働者團
結の本團を分働組合の發達に努力し過去に拂つた犠牲を
しでやせしからしめないやうにしなればならない。此處に大日本救世團
なるものがある。彼等は我等が運動の結果多数の失業者を
出したりと聞くと突如失業者を其の本部に準めて「今までの
總ての行為を改悟懺悔して善良なる労働者たる然らば救
世團に誓って数日中に復職せしむべし」と生活問題の途上に
迷ひ前に述べたるが如き自覺を有せざる者の弱き点を巧みに
捉へた。而して此が陸軍大将大迫尚道の名に依つて誓いはれた。未だ
旧く因襲に囚はれて其の威力を自信する一部の労働者が過去
の尊重犠牲を弊履の如く捨て、飢饉の前に屈服したる心情は
憫む可きも、彼等が無自覺と飢饉に乗じて労働者が意義あり

る運動と犠牲を蹂躪し一疋の好餌に依つて再び労働者を
奴隸の境地に蹴落さんとしたる態度に對しては我等
の憎悪と憤怒に堪へざる所である。

救世團が失業者の一部を向て此の誓言となしたるは本年八月
二日の夜である。大将の名に依つて爲された此の「数日後」の誓言約
は失業者の一部が所謂懺悔の宣誓と襲くる爲め明治神宮
造営の土工として泥に塗れて勞役し、都下の新聞の如きは
「失業して食糧同様になつてゐる」と報せしめたるに至る迄南來
三ヶ月を経過した。而かも復職なる事實は何時行はれるか
全く不明である。不明なるのみか本組合幹部は失業の心情
を憫むの餘り東京電氣本局の態度と糾したるが復職又

本組合日本電氣本局の態度と糾したるが復職又